

東海歯科医療専門学校 学校自己点検・評価表

評価対象期間・：令和6年4月1日～令和7年3月31日

実施日：令和 7年 6月 4日

1. 令和7年度 学校の教育目標

- (1) 学生1人1人に寄り添い、国家試験合格に導く。
- (2) 現状に満足せず、将来も絶えず向上心を持って進むよう導く。

2. 令和7年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- (1) 学生自ら考える力とプレゼン力をつけるために、アクティブラーニングの授業の充実を図る。
- (2) プログラミングとデジタル歯科技工の授業内容の充実
- (3) 基礎学力の向上
- (4) 付加価値のある選択制ゼミの充実
- (5) 教員がデジタル歯科技工に関するスキルアップをし、授業内容の充実を計る。
- (6) クレド活動に積極的に取り組む。
- (7) 危機管理マニュアルの策定

3. 令和6年度の評価項目の達成及び取組状況

1 教育理念・目標		適切：4、ほぼ適切：3 やや不適切：2、不適切：1
1-1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか	4
1-2	学生・保証人（保護者）に対して教育理念等を明文化し、周知しているか	4
1-3	教職員に対して教育理念等を明文化し、周知徹底を図っているか	4
1-4	学外の方に対して教育理念等を明文化し、公表しているか	4
1-5	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4
1-6	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか（学校の将来構想を描くために、業界の動向やニーズを調査しているか）	4
1-7	学校における職業教育の特色は明確になっているか	4

① 課題

理念・目的・育成人材像はスチューデントマニュアルに明記しており、新入生オリエンテーション、保護者説明会等で周知している。教育課程編成委員会における提言を参考にし、業界のニーズに向けて教育方法を再検討しながらカリキュラム編成を行っている。

② 今後の改善方策

業界の変化に対応できるよう、教育課程編成委員会のご提言、業界のニーズ分析を行い、カリキュラム編成を行っていく。また、それを周知し、学生・保護者の理解を得る。

③ 特記事項

特になし。

2 学校運営		適切：4、ほぼ適切：3 やや不適切：2、不適切：1
2-1	教育方針や教育目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
2-2	運営方針を教職員に周知しているか、また必要に応じてその理解の状況を確認しているか	4
2-3	寄附行為、理事会会議規則等（法人）、学校の運営規程等が整備され、それらに従って理事会・評議員会（法人）が開催されているか	4
2-4	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
2-5	運営会議（学科長会・教学事務連絡会等）が定期的に開催されているか	4
2-6	専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、実務に関する研修や指導力の修得・向上のための研修等を受講させているか	3
2-7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。	4
2-8	人事、給与に関する制度を整備しているか	4

① 課題

教員研修について、専門分野の実務に関する研修には受講できているが、指導力や教育に関する研修の受講は、対象となる研修が少ない場合や遠方で受講しにくい場合がある。

② 今後の改善方策

指導力や教育に関する研修は、外部講師を学校に招聘し、学校で受講できるようにした。今年度は教職員全体研修として8月6日に実施をする。

③ 特記事項

- ・令和7年度から工学校の空き教室を活用した不動産賃貸業を行うために、寄附行為を改正した。
- ・運営方針を教職員に周知するために、4月1日に全教職員を対象とした教職員会議を開催し、理事長による事業方針の説明、法人本部各部署の事業計画の説明をした。

3 教育活動		適切：4、ほぼ適切：3、 やや不適切：2、不適切：1
3-1	教育目的および育成人材像に基づき教育課程の編成・実施方針（カリキュラムポリシー）を明示し、また学校構成員（教職員および学生等）に周知し、社会に公表されているか。	4
3-2	教育目的および育成人材像に基づきディプロマポリシーを明示し、また学校構成員（教職員および学生等）に周知し、社会に公表されているか。また定期的に検証を行っているか	4
3-3	講義および実習に関するシラバスは作成されているか	4
3-4	各科目の一コマの授業について、その授業シラバスが作成されているか	4
3-5	シラバスあるいは講義要項（作成されていればコマシラバス）などが事前に学生に示され（あるいはホームページなどで公開されて）、授業で有効活用されているか	4
3-6	質保証を目的とした授業や学習の定期的な観察を実施しているか	4
3-7	学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか（学習の目的を満たしているか、満足度を含めて定期的に確認しているか）	4
3-8	評価結果を教員にフィードバックするなど、その結果を授業改善に役立てているか	4
3-9	カリキュラム作成メンバーの中に業界関係者などの外部関係者を入れているかまたはその意見を取り入れているか	4
3-10	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
3-11	学生や保証人（保護者）に対し、成績評価・単位認定の基準、進級要件、卒業要件はきちんと提示されているか	4
3-12	各規定に基づいて適切に成績評価・単位認定、進級・卒業判定を行っているか	4
3-13	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか（発行する修了証明書の種類及び内容）	4
3-14	キャリア教育を行ない、学生の社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育成しキャリア発達を促しているか	4

① 課題

授業評価について常勤講師間では確実にフィードバックが行われたが、一部の非常勤講師に対しては実施できていない。

② 今後の改善方策

授業評価の情報共有を口頭または書面で行い、内容によっては講師会議を実施する。

③ 特記事項

特になし

4 学修成果・教育成果		適切：4、ほぼ適切：3、 やや不適切：2、不適切：1
4-1	学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか	4
4-2	対外部に向けた就職実績を公表しているか（パンフレット・HP等）	4
4-3	資格取得率の向上が図られているか（目標とする資格試験等への合格率は全国平均と比較してどうか）	4
4-4	国家試験結果に関して検証・報告がされたか	4
4-5	国家試験結果（合格者数・合格率）を公表しているか	4
4-6	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか（卒業生の就職後の動向を出来るだけ把握し、卒業後にも就職その他の支援を行っているか）	4

① 課題

特になし。

② 今後の改善方策

引き続き各項目について適切になるよう行っていく。

③ 特記事項

特になし

5 学生支援		適切：4、ほぼ適切：3 やや不適切：2、不適切：1
5-1	学生への修学支援を適切に行っているか	4
5-2	進路・就職に関する支援体制は整備されているか（またそれはきちんと学生や保証人（保護者）に周知されているか）	4
5-3	学生相談に関する体制は整備されているか（相談窓口が設置されているか）	4
5-4	学生の面談・相談記録があるか	4
5-5	奨学金制度など、学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
5-6	学生の健康管理を担う組織体制はあるか（学生の健康診断を実施しているか、また健康相談窓口は整備されているか）	4
5-7	退学率の低減が図られているか（出欠状況及び学習者の減少に関する分析が行われているか）	4
5-8	退学率の低減に関する目標・計画が教職員に共有されているか	4
5-9	退学者数を公表しているか	4
5-10	保証人（保護者）と適切に連携しているか（保証人のニーズを把握しているか）	4
5-11	保証人（保護者）との計画的な相談会・面談を行っているか	4
5-12	卒業生への支援体制を整備しているか（再就職、キャリアアップ等について、相談に乗っているか）	4
5-13	卒業生への卒業教育等の支援体制はあるか（卒業生への講習・研修を行っているか）	2

① 課題

定期面談の他に成績状況や生活態度によって随時面談を行っているが、2年生1名、1年生1名（留学生）が単位未履修で留年となった。

卒業教育等は関係団体の紹介に留まり、学校としては実施していない。

② 今後の改善方策

留学生については引き続き国際課との連携を密に対応していく。

③ 特記事項

特になし

6 教育環境		適切：4、ほぼ適切：3 やや不適切：2、不適切：1
6-1	学生が利用できる参考図書・関連図書は備えられているか	4
6-2	教育上の必要性に対応した機材・備品を整備しているか	4
6-3	学内外の実習施設、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
6-4	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	3
6-5	防災・防犯設備（非常灯・消火器・警備システム等）が整備・点検されているか	4
6-6	定期的に防災訓練を実施しているか	3

① 課題

防災設備において経年劣化により今後故障する可能性があるものについては、計画的に修繕が必要である。

② 今後の改善方策

各設備の点検の際、指摘事項があれば適宜整備を行う。

③ 特記事項

特になし。

7 学生の受入れ募集		適切：4、ほぼ適切：3 やや不適切：2、不適切：1
7-1	学校案内に、育成人材像、特徴、目指す資格・免許等をわかりやすく紹介しているか	3
7-2	学校説明会等による情報提供（育成人材像、目指す資格、学費・教材費等の情報）を行っているか	4
7-3	入学予定者に対し学習指導・支援等が行われているか	4
7-4	学校案内等には選抜方法が明示されているか（入学に必要な学力、スキル、資格、職業経験などの、前提となる要件が明示されているか）	4
7-5	学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に入学者選抜を行っているか	4
7-6	学納金は妥当なものとなっているか	4
7-7	学校案内等に、学費、受験料、学習教材の購入費等が明示されているか	4

① 課題

学校案内には紙面の限りがあるため、ディプロマポリシーなどの3つのポリシーはホームページ上で掲載している。

② 今後の改善方策

学校案内に3つのポリシーを紹介しているホームページを紹介する二次元コードの掲載を検討する。

③ 特記事項

特になし。

8 教育の内部質保証システム		適切：4、ほぼ適切：3 やや不適切：2、不適切：1
8-1	養成施設指定規則等の遵守と適正な運営がなされているか	4
8-2	関係法令に基づく管理運営に関する学内諸規程を整備し適切に運用しているか	4
8-3	ハラスメントの防止について規定を文書化し、対策を立て実行しているか	4
8-4	学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	4
8-5	個人情報保護規程が文書化されているか	4
8-6	自己点検・評価の結果に基づき改善計画を策定したか	4
8-7	学校関係者評価の実施体制を整備し、学校関係者評価を実施し、改善の取組みを行っているか	4
8-8	自己評価、学校関係者評価結果及び教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4

① 課題

- ・情報セキュリティ関連の意識向上のための特別な講習会等ができなかったが、随時個別に指導を行った。
- ・内部監査員を学科長級の教員から選任することを検討したが、学科長の業務が増加しており、負担過重になることが想定されたため、事務職員で監査を実施した。

② 今後の改善方策

- ・情報セキュリティ関連の講習会を実施し、教職員の情報スキル向上を図るため、e ラーニングや試験の導入を検討し、全体的なリテラシー向上に努めていく

③ 特記事項

- ・内部監査について、法人本部総務部と経理課職員が監査を担当し、教学監査を実施した。一部の項目では正処置とフォローアップを行ったが、最終的には不適合な事項はなかった。

9 財務		適切：4、ほぼ適切：3 やや不適切：2、不適切：1
9-1	教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財政的基盤を確立しているか	4
9-2	年度予算・中期計画が策定されているか	4
9-3	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
9-4	予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っているか	3
9-5	私立学校法及び寄付行為に基づき適切に監査を実施し、理事会、評議員会に報告しているか	4
9-6	財務情報公開の体制を整備し、適切に公開しているか	4
9-7	財務情報の公開について、ホームページに公開するなど積極的に取組んでいるか	4

① 課題

学生数の減少により、経常収支の黒字額が減少した。

また、物価高により経費削減が必要である。

② 今後の改善方策

- ・経費削減について学内コミュニケーションツールを使い、アイデアを募った。教材費の上限を設
臨床実習費の経費削減策などについて意見があった。実施可能な事項は、実施計画を立案して、実
施していく。
- ・臨時案件について財務面での中長期計画を策定した上での判断をするようにする。引き続き、計画
的な学校ごとの施設設備の修繕を改修計画に基づき実施していく
- ・消耗品や光熱費、コピー機の使用状況に加え、昨年度より値上げされた郵便料金や実習時の宿泊費等
を学科ごとに分類することで、各学科における経費の詳細を把握するとともに、教職員に対するコス
ト意識の徹底を図っていく。

③ 特記事項

会計監査は、公認会計士及び監事により適正に行われている。

10 社会貢献・地域貢献		適切：4、ほぼ適切：3 やや不適切：2、不適切：1
10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
10-2	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4
10-3	学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	2

① 課題

セムイサロンでは、地域の方にご参加いただき、口腔についての公開講座を行った。

外部団体からボランティア活動の案内があった場合には周知したが、参加者がいなかった。

② 今後の改善方策

外部団体からボランティア活動の案内があった際には引き続き周知を行い、その活動を推奨する。

学校主催の地域清掃ボランティアを企画する

③ 特記事項

特になし。